

環境省の取組 - ステークホルダーズ・ミーティングの設置

1. SDGs には多くの環境関連ゴール・ターゲットが含まれる。
2. 実施に向けて多様な主体が関与する。
3. 実施に向けた取組は多様であり、先行事例を見つつ、創意工夫が必要。

⇒先行する取組を相互に認め合うとともに更なる取組に弾みをつける場、また、現時点ではSDGsの実施を検討している段階の主体が自身の活動の展開について能動的に考える場、多様なセクターの協働を促進していく場として、政府、ビジネス、学界、NGO等から構成される「ステークホルダーズ・ミーティング」を設置。



ミーティング後の懇親会の様子

第1回ステークホルダーズ・ミーティング

- 第1回ステークホルダーズ・ミーティングは2016年8月19日に東京で開催。主にビジネス界から約200名が傍聴者として参加。
- 「12. 持続可能な消費と生産」に焦点を当て、CSR報告書や広報資料等でSDGsについて特徴的に記載している損保ジャパン日本興亜と伊藤忠商事がそれぞれ先行事例を紹介。
- 構成員である有識者から、伊藤忠のプレオーガニック・コットン等の取組は、本業を通じてSDGsを推進し、課題を特定するため現場主義を重視している点で先駆的、損保ジャパン日本興亜の天候インデックス保険は、国際協力銀行やリモート・センシング技術センターなどの多様なステークホルダーとの協力の結果実現した点で、SDGs実施のためのビジネス参画の良いモデルとなりうる、損保ジャパン日本興亜による活動の社会的価値を定量的に把握するチャレンジは、課題も多いが先駆的、等のコメントがあった。
- ミーティング終了後、ネットワーキングのための懇親会を開催。
- 2016年度内に第2回、第3回を開催予定。

構成員

有馬利男	グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事
福田加奈子	住友化学株式会社CSR推進部長
小野博也	伊藤忠商事株式会社CSR・地球環境室長
関正雄	損害保険ジャパン日本興亜株式会社CSR室シニアアドバイザー 明治大学経営学部特任准教授
星野智子	地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）運営委員
藺田綾子	株式会社クレアン代表取締役社長
藤田香	株式会社日経BP社日経エコロジー編集 日経BP環境経営フォーラム生物多様性プロデューサー
川廷昌弘	株式会社博報堂広報室CSRグループ推進担当部長
紺屋健一	独立行政法人国際協力機構（JICA）企画部 参事役
竹本和彦	国連大学サステナビリティ高等研究所所長
蟹江憲史	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
田崎智宏	国立研究開発法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室室長
西岡達史	外務省国際協力局地球規模課題総括課長
関谷毅史	環境省地球環境局国際連携課長
森秀行	公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）所長（ファシリテーター）